

## 令和2年度 第12回 金沢医療センター治験審査委員会

### 【会議の記録の概要】

開催日時	2021年03月16日 16時30分～17時30分
開催場所	金沢医療センター 大会議室（大）
出席委員	阪上 学、萱原 正都、加賀谷 尚史、新田 永俊、石塚 悌市、滑川 善秋、成瀬 美恵、秋山 哲平、中村 明子、吉野 ゆかり
欠席委員	池田 和夫
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. 日本新薬株式会社の依頼による慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者を対象としたNS-304（セレキシパグ）の第Ⅲ相試験（整理番号：16002）          安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。          審査結果：承認          ・阪上 学委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題2. （治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼によるA phase III randomised, double-blind trial to evaluate efficacy and safety of once daily empagliflozin 10 mg compared to placebo, in patients with chronic Heart Failure with preserved Ejection Fraction (HFpEF)          駆出率が保持された慢性心不全（HFpEF）患者を対象としてエンパグリフロジン10 mg 1日1回投与の有効性及び安全性をプラセボと比較して評価する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検試験（整理番号：17006）          安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。          審査結果：承認          ・阪上 学委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. 大塚製薬株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対するブレクスピプラゾール（OPC-34712）の有効性、安全性を検討する、多施設共同、プラセボ対照、無作為化、二重盲検、並行群間比較試験（整理番号：18004）          安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書等、また、予定される治験費用に関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。          審査結果：承認</p> <p>議題4. 小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538第Ⅲ相試験 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する多施設共同二重盲検無作為化試験（整理番号：18005）          安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。同意・説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1</p>

年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  
審査結果：承認

議題5. 大塚製薬株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症に伴う  
アジテーションに対するブレクスピプラゾール（OPC-34712）継続投与  
時の安全性を検討する多施設共同、非対照、非盲検試験（整理番号：  
19003）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実  
施することの妥当性について審議した。治験実施計画書等、また、予定  
される治験費用に関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施するこ  
との妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継  
続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

議題6. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるRespiratory Syncytial  
ウイルス（RS ウイルス）感染症による急性呼吸器感染症の28日齢以上3  
歳以下の乳幼児を対象に種々の用量のJNJ-53718678の抗ウイルス活性、  
臨床アウトカム、安全性、忍容性及び薬物動態／薬力学的関連性を評価  
する第2相、二重盲検、プラセボ対照試験（整理番号：19006）

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審  
議した。

審査結果：承認

議題7. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動  
期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評  
価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行  
群間比較、多施設共同試験（整理番号：19007）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実  
施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、  
治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題8. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動  
期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価  
を目的とした第II/III相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対  
照、並行群間比較、多施設共同試験  
（整理番号：19008）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実  
施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、  
治験を継続して行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題9. EAファーマ株式会社の依頼による活動期クローン病患者を対象  
としたE6011の早期第2相臨床試験（整理番号：20006）

安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実  
施することの妥当性について審議した。被験者募集広告での来院患者へ  
の支払いに関する資料の追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥  
当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して  
行うことの妥当性を審議した。

審査結果：承認

・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題10. 武田薬品工業株式会社の依頼による2 歳以上6 歳未満の小児高  
血圧症患者を対象としたTAK-536 の第3 相試験（整理番号：20010）

治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審  
議した。

審査結果：承認

議題11. 小野薬品工業株式会社の依頼によるF0Y-305 第Ⅲ相試験

	<p>SARS-CoV-2による感染症（COVID-19）に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験（整理番号：20011）  安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。  審査結果：承認  ・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題12. 大正製薬株式会社の依頼による小児2型糖尿病患者を対象としたTS-071（ルセオグリフロジン）の第Ⅲ相試験（整理番号：20012）  治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。  審査結果：承認</p> <p>議題13. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるRS ウイルス（Respiratory Syncytial ウイルス：RSV）による急性呼吸器感染症で入院した乳幼児（28 日齢以上5 歳以下）並びに新生児（28 日齢未満）を対象にrilematovir の有効性及び安全性を評価する第3 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験（整理番号：20013）  治験実施計画書等に基づき治験実施の妥当性について審議した。  審査結果：承認</p> <p>【報告事項】  報告 1：（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による、Safety, tolerability, efficacy and dose-response of GSK2831781 in ulcerative colitis. 潰瘍性大腸炎におけるGSK2831781の安全性、忍容性、有効性及び用量反応（整理番号20009）  内容：治験終了報告書について（2021年3月3日）  報告 2：ID-Link (R-SDV) 運用管理規程について  報告 3：令和3年 2月末時点の金沢医療センターにおける治験実施状況について  報告 4：令和2年度 第11回 金沢医療センター 治験審査委員会 会議記録概要（令和2年度2月IRB）について</p>
特記事項	